

問9 本調査またはリハビリテーションについてのご意見	
111	現在通院している医療施設はスポーツ事故者だけが治療を受けている。各自担当の医師、リハビリの先生がその日々の状態を見て指導をされるので安心して治療を受けられる。リハビリの内容も常に変る。後は各自の努力だけだから（通院日以外）。但し、多くの人達はキメの細かいリハビリの指導を受けられず、治るものも治らず不幸な生活を続けていると思う。そう言う不幸な人を一人でも少なくする指導機関が必要と思う。
112	リハビリをしているお陰で、手首と親指の骨折した所が、良くなってきています。もう3ヶ月になるのですが、まだ、不自由な所が多いので後何ヶ月もかかるかもしれません。リハビリは本人さんが納得するまで、やって欲しいと思います。期間を決められたら迷惑ですね。
113	リハビリを続けて自分で身の回りの事は出来るようにしておきたい。
114	本県ではまだリハビリ用の施設人員設備等の不足を感じます
115	リハビリ150日間休まず通院したがもう少しあればよい
116	リハビリの期間が150日間と聞いて、不安を感じています。手（左手が特に）が不自由なので、日常生活が不便です。このままでは、仕事も出来ないので生活の不安もあります。
117	痛みが出た時に随時リハビリ出来るよう希望します。
118	今行っている通院のリハビリはとても良いです。
119	リハビリの期間が決められた事により、拘縮や変形が進んだり、筋力が低下したり、日常生活に支障を来たしている人が、多くいます。介護保険対象外の者は完全に打ち切られる状態。リハビリによって今まで自分で出来ていたことが、徐々に出来なくなり、人の手を借りなければならなくなる。そんな現状をどうお考えでしょうか。リハビリは明らかに症状が良くなる人の為にあるのではなく、誰もが人として、自分の持てる力でよりよく生きる為にも、短い期間で打ち切るとするのは良くない。人それぞれの必要性を重視してもらいたいと強く願います。
120	50肩で通院し、リハビリを受けていますが、なかなか痛みは取れず、腕も上がりません。短い期間では、完治できない場合もあると思います。医療保険から、介護保険に移行できない場合、治療は続けられないのでしょうか？継続して治療を受けられる様になる事を望みます。個々に症状は違うのですから。
121	自己負担額が多くなり、希望したリハビリが出来なくなった。年金（国民）だけの生活ではリハビリにも限度があります。
122	リハビリは自分ではとても出来るものではない。従って現在受けている所でずっと受けたい。
123	・リハビリの150日の制限をなくしてほしい。・介護のリハビリを充実させてほしい。
124	定期的に関節リハビリの先生に診てもらい、今の能力が維持できるようにしていきたい。全くリハビリから離れることに今後の不安を感じています。
125	・速やかに再開してほしい・リハビリテーションの大切さが特に感じています。
126	食事が飲み込めなくなり胃ろうの手術後“MRSA”となりましたが、リハビリの先生は病室にリハビリに来て下さいました。“もう、だめかな”と思っていた家族を、励まして下さいました。“リハビリは患者だけでなく、介護をする者をも見守って下さる”そう思って感謝しております。
127	自主トレーニングのためのマシン機があれば良いと思う。先生の手があくまで訓練出来るので時間が有効に使えます。